

トンボロを歩こう



モースが愛した江の島

～トンボロを歩く自然歴史散歩～

令和7年5月28日(水) 半日コース(雨天中止)

大森貝塚の発見で有名なエドワード・S・モースが日本に来た本当の目的は、進化論研究に大切な材料となる江の島のシャミセンガイを採取することにあります。

明治の初め、来日間もないモースは江の島の漁師小屋を研究施設に改造し、研究に没頭しました。そして当時の江の島で見たものは・・・？ 感動したものは・・・？

5/28 は新月の大潮、干潮の時間帯は江の島と片瀬浜が砂州でつながるトンボロを歩きます。そして、1500 万年前の地層に触れ、モース博士の江の島での足跡をたどる江の島の自然歴史散歩です。

コース (約 3.5km 高低差有) トイレ有

小田急片瀬江ノ島駅(集合) → 弁天橋 → 参道 → 下道 → 山二ツ → 中津宮 → 学校道階段 → 聖天島公園 → 南の磯 → 北緑地 → トンボロ → 片瀬東浜(解散)



明治のころの江の島(トンボロ)

藤沢市文書館提供

- 実施日：令和7年5月28日(水) 雨天中止
- 集合場所：小田急片瀬江ノ島駅前 午前9時30分集合
- 解散場所：片瀬東浜 午後0時半頃
- 募集人員：50名(どなたでも参加できます)
- 参加費：1000円(保険料・資料代等)
- 申込先：5月15日(木) 午前9時～ ふじさわ宿交流館に電話で
- 持ち物：飲み物、筆記用具、ゴミ袋、雨具等
歩きやすい靴と服装でご参加ください
- 問い合わせ：ふじさわ宿交流館 Tel 0466-55-2255
当日のお問い合わせは、午前8時以降にお願いします

ガイド
レシーバー
(無線)
での案内を
実施!

マイイヤホンを
お持ちの方はご
持参ください